

2008年度(07/11~08/10)EPEクラブ活動報告

2008/10/E現在 板谷

連番	内容		実施年/月/日	担当	コース・タイム・担当者コメント	参加者	参加者数
	例会No.	一般:一般例会 OP:オプション例会					
202	一般117	泉南・四石山	2007/11/3	奥中、畑山	快晴に恵まれて、参加者はテスト参加者1名をいれて21名の多数でしたが、複雑な府県境を、一度はEPE新道を通り四石山に全員登りました。予定時間を約1時間オーバーしましたが、晩秋の素晴らしい自然林を十分に満喫した一日でした。	奥中種雄、畑山禮子、紀伊莚本節雄、紀伊莚本博美、磯辺秀雄、岸本久仁雄、西田保、田中智子、柴田弘子、樺田克彦、板谷佳史、松本明恵、寺島直子、寄川都美子、黒澤百合子、高木恵美子、小椋美佐、堀木宣夫、山本洋、岡本佳久、吉田二三子	21
203	一般118	京都北山・雲取山	2007/11/11	本郷、三原	晩秋の冷たい雨か?・・・と思われる天気予報でしたが、幸いにも外れて午後からは日が射すほどの天気になりました。今年の紅葉は鮮やかさが無いと言われていますが、それでも自然林の紅葉と北山杉とのコントラストを楽しみながら、北山の秋の中を心ゆくまで歩いてきました。	本郷善之助、三原秀元、西田保、樺田克彦、板谷佳史、大西幸孝、畑山禮子、黒澤百合子、安岡和子、寺島直子、川崎喜美子、松本明恵、近藤さとみ	13
204	OP82	熊野古道・伊勢街道馬越峠と八鬼山越え	2007/11/17~18	紀伊莚本、奥中、野口	石畳の古道は木漏れ日の森をつづら折りに登っていく、行き交う人はほとんど無く、ただ黙々と辿るうちに、昔人の想いが胸いっぱい広がってきます。馬越峠も八鬼山越えも好天に恵まれ、期待どおりの趣に誰もが満足した山旅でした。その上、三木里の宿の、素朴な焼き魚、サザエの造り、久しぶりに旨かったなあ、、、山あり、旅あり、歴史あり、E.P.E.ならではのよこびです。	紀伊莚本節雄、奥中種雄、野口秀也、岸本久仁雄、高木恵美子、畑山禮子、柴田弘子、田中智子、西田保、紀伊莚本博美、青木義雄、神阪洋子、岩崎真美子、堀木宣夫、小椋美佐、横内まみね、樺田克彦、山田春雄、横山寿夫、徳平忠久	20
205	一般119	天ヶ滝新道から金剛山	2007/11/25	磯辺、安部	JR北宇智から登山口までの長いアプローチは、前方に広がる山並の雄大な眺めが目を楽ませしてくれる。奈良県側から望む金剛の山々は、どっしりと大きく、なかなか立派である。今回は北宇智から金剛山頂までの標高差約1000mに挑むことになる。登山口から天ヶ滝経由伏見峠までは、樹林の中の登りが続く。稜線上は連休中とあってか何処もかしこも人の波。山頂付近で四囲の眺望を楽しんだ後、下山路は静かな細尾谷を選び下降。絶好の天気にも恵まれ楽しい例会となりました。	磯辺秀雄、安部泰子、堀木宣夫、岡本佳久、吉田伸寛、齋藤容子、紀伊莚本節雄、紀伊莚本博美、近藤さとみ、安岡和子、板谷佳史、大西恒雄、奥中種雄、田中智子、畑山禮子、寺島直子、秋田文雄、松本明恵、本郷善之助、柴田弘子、高木恵美子	21
206	一般120	比良・八瀨の滝から武奈ヶ岳	2007/12/9	宮平、秋田	敦賀から駆けつけて来た村浪さんも合流して総勢19名となる。参加者多数で手間取る心配をしたが3月に個人山行で経験済みのメンバーがいたおかげでルート取りはスムーズに進んだ。下界には最後の紅葉が残るのに、上では完全に冬景色で今冬最初の冬山気分と寒さを味わった。	宮平良雄、秋田文雄、板谷佳史、長瀬茂正、保木道代、畑山禮子、柴田弘子、黒澤百合子、松本明恵、安部泰子、田中智子、樺田克彦、寺島直子、安岡和子、山岸悟、山岸郁子、本郷善之助、村浪義光、西村晶	19
207	一般121	田山から府庁山	2007/12/15	磯辺、紀伊莚本	今回は、南海千早口からクヌギ峠を経て、田山・府庁山・旗尾山・天見駅のコースを採る。田山の登りは胸突く急登、府庁山三差路からは尾根伝いに旗尾山に向かう、途中葛城第18経塚に立ち寄り。心地よい自然林の中を辿り、尾根上の数箇所送電線鉄塔付近からは、天気にも恵まれ、四囲の山々の眺望を大いに楽しむことが出来た。下山は登路を外し急な尾根をブッシュを掻き分け急降下。全員元気に天見駅へ……。	磯辺秀雄、紀伊莚本節雄、西田保、山田春雄、樺田克彦、山下登志子、板谷佳史、黒澤百合子、宮平由紀子、野口秀也、畑山禮子、柴田弘子、堀木宣夫、神阪鐵志、神阪洋子、緒方副人、中西弘子、高木恵美子、川崎喜美子、岸本久仁雄、奥中種雄、岡本佳久、吉田伸寛、松本明恵、近藤さとみ、横内まみね、大西恒雄、寺島直子、紀伊莚本博美、和田敬子、小椋美佐	31
208	OP83	大峰・稲村ヶ岳	2007/12/22~23	板谷、長瀬	天気予報は土曜から日曜にかけ雨、最悪の条件で集合する。この雨では強行という訳にもいかず、とりえず虹峠の吾妻屋で風雨を避け思索中、担当者が冬季閉鎖中の洞川キャンプ場と交渉し、粋な計らいで使用(有料)させていただけ。おかげで持参した鍋を囲み、濡れずに一夜を過ごす。翌朝6:00キャンプ場を出てゴロゴロ水駐車場からの日帰り山行に切り替えてのスタート。雨具をつけてのスタートであったが、徐々に天候回復し、予期せぬ快晴となる。大日のトラバースも問題無し、山頂付近の積雪30~50cmあったのが前夜の雨で解けた感あり、約2時間程だけの快晴で後はガスが出て曇り空となる。「日の出山行」は又の機会に・・・となりました。	板谷佳史、長瀬茂正、宮平良雄、畑山禮子、柴田弘子、田中智子、松本明恵、安部泰子、黒澤百合子、保木道代、近藤さとみ、西村晶	12

2008年度(07/11~08/10)EPEクラブ活動報告

2008/10/E現在 板谷

連番	内容		実施年/月/日	担当	コース・タイム・担当者コメント	参加者	参加者数
	例会No.	一般:一般例会 OP:オプション例会					
209	一般122	天見・タイ谷から金剛南尾根、西の行者		大西(恒)、岸本(久)	事前の申込で60人弱の参加とわかっていましたので、限られた時間内での紀伊見荘への到着、天気、人数の把握、コースの振り分けと下見はしていましたが、当日まで色々心配していました。幸いにも天気もよく、 punta谷とタイ谷の平行するコースに分かれてスムーズに初歩きをすることができました。その分参加者の皆さんには少し物足らなかったかもしれませんが、担当者としてはホッとしております。新年会とのセットで場所を考えるとどうしても同じところになります。来年は・・・	大西恒雄、岸本久仁雄、紀伊基本節雄、紀伊基本博美、神阪鐵志、神阪洋子、奥中種雄、秋田文雄、谷孝司、三原秀元、宮平良雄、横山寿夫、大西征四郎、長瀬繁子、緒方副人、板谷佳史、笠松マサエ、宮田秀晴、松本明恵、安岡和子、柴田弘子、江本恭子、江本由貴、和田良次、和田敬子、川崎喜美子、小椋美佐、永島健一、徳平忠久、 中西弘子、田中智子、田中節子、山田春雄、横内まみね、大西幸孝、樺田克彦、黒澤百合子、近藤さとみ、寄川都美子、寺島直子、山下登志子、岩崎憲代、堀木宣夫、高木恵美子、達健一、山本洋、齋藤容子、吉田伸寛、岡本佳久、上原進一、實操綾子、榊田誠寛、杉山僚、西野勇治、西村晶	55
211	新年会	設立5周年新年祝賀会	2008/1/13	磯辺、大西(恒)	国民宿舎「紀伊見荘」での新年会も今年で6回を数えます(1回目は発会を兼ねての新年会)。今回はクラブ設立5周年を迎え「設立5周年新年祝賀会」として開催することになりました。紀伊基本代表の挨拶の中で、E. P. E. の楽しく・力強く・優雅にのモットーに《Long Life》を加えたらとの提案は、参会者から賛同の大きな拍手で迎えられました。宴では会員同志、和やかな雰囲気での歓談が続き、会も楽しく盛り上がりを見せ、また例年恒例となった豪華な景品が当たる福引の抽選には、会場も大いに沸き返りました。終わりに、今年も安全で楽しい登山を願って散会しました。	磯辺秀雄、大西恒雄、深井英司、紀伊基本節雄、紀伊基本博美、和田晴次、神阪鐵志、神阪洋子、本郷善之助、岸本久仁雄、奥中種雄、秋田文雄、谷孝司、三原秀元、西田保、宮平良雄、翁長和幸、竹林英、横山寿夫、大西征四郎、長瀬繁子、緒方副人、板谷佳史、笠松マサエ、宮田秀晴、松本明恵、安岡和子、小林譲、畑山禮子、青木義雄、柴田弘子、江本恭子、江本由貴、和田良次、和田敬子、 川崎喜美子、小椋美佐、永島健一、徳平忠久、中西弘子、田中智子、田中節子、山田春雄、横内まみね、大西幸孝、樺田克彦、黒澤百合子、近藤さとみ、寄川都美子、寺島直子、山下登志子、岩崎憲代、堀木宣夫、高木恵美子、達健一、山本洋、齋藤容子、吉田伸寛、岡本佳久、上原進一、實操綾子、榊田誠寛、杉山僚、西野勇治、西村晶	65
213	一般123	鈴鹿・油日岳	2008/1/20	宮平、長瀬	鈴鹿山脈特有のやせ尾根と岩がらみの急な登り下りが続き、これがハイキングコースかと思わせる場面が随所にあり、緊張感と冬らしい寒さで時間の経つのを忘れる。帰りを考え、大原ダム林道に車1台デポし時間短縮できました。	宮平良雄、長瀬茂正、板谷佳史、本郷善之助、樺田克彦、長瀬繁子、安岡和子、田中智子、畑山禮子、黒澤百合子、保木道代、近藤さとみ、松本明恵、岸田暎子、谷村洋子、安本嘉代、寺島直子、神阪洋子	18
214	一般124	高取山から多武峰	2008/1/26	紀伊基本、奥中	冬晴れのなか、ときに小雪が舞い気温は結構低かった。芋峠には飛鳥から吉野へ、今は荒れてはいるが細い車道が通じている。都を通れ不安のなかで、この峠を越したであろう大海人皇子(後の天武天皇)と鶴野讚良皇女(うののさららのひめこ、後の持統天皇)二人の心情がかすかに偲ばれる。いっぽう、竜在峠から冬野に至る山路は往年の賑わいは薄れ、冬枯れの静寂がそこはかと感じられた。歴史を訪ねる山旅は、自分の足で一步一步、確かめたしかめ味わえるのが何よりうれしい。飛鳥の都ぶりは木立が邪魔をしてよく観えなかったが、夕暮れの迫る多武峰から東に音羽山、経ヶ塚山と並ぶ風景は優雅で美しい。里山、今日も万歳だ。	紀伊基本節雄、奥中種雄、紀伊基本博美、神阪鐵志、宮平由紀子、黒澤百合子、樺田克彦、大西征四郎、柴田弘子、畑山禮子、田中智子、秋田文雄、横内まみね、岩崎憲代、寺島直子、寄川都美子、谷村洋子、岸田暎子、安本嘉代、堀木宣夫、岡本佳久、吉田伸寛	22
215	一般125	賤ヶ岳から山本山	2008/2/3	本郷、三原	車中からの湖東の風景はかなりの積雪だったので、山ではラッセルか?と思わせたが、湖北に入るとわずかの積雪しかなく天気予報ほどの悪天にもならず曇り空だが視界もかなり良く、期待どおりの琵琶湖・余呉湖の展望が楽しめました。	本郷善之助、三原秀元、樺田克彦、堀木宣夫、神阪洋子、大西幸孝、近藤さとみ、板谷佳史、柴田弘子、谷孝司、田中智子、畑山禮子、奥中種雄、宮田秀晴、長瀬茂正、村浪義光	16

2008年度(07/11~08/10)EPEクラブ活動報告

2008/10/E現在 板谷

連番	内容		実施年/月/日	担当	コース・タイム・担当者コメント	参加者	参加者数
	例会No.	一般:一般例会 OP:オプション例会					
216	一般126	奈良・竜王山	2008/2/10	宮平、大西(征)	前日大阪では11年ぶりに積雪5cmとの新聞の大見出し。鉄道、道路とも混乱無く予定通り柳本からスタート、普段はないはずの雪が道路端、田畑にのっている。長岳寺を過ぎ、竜王山登山コースを辿り山頂に、さすがに見晴らしが良いが、霞がかかり、今ひとつ遠望がきかなかった。山辺の道散策は途中省略し、相撲神社口よりバスに乗り桜井駅に出て、解散。	宮平良雄、大西征四郎、奥中種雄、板谷佳史、畑山禮子、岸田暎子、寺島直子、西田保、青木義雄、中川雅嗣、中川洋子、松本明恵、黒澤百合子、安本嘉代、安本昭久、谷村洋子、安岡和子、岸本久仁雄、樺田克彦、堀木宣夫、長瀬茂正、和田敬子	22
217	OP84	東北スキー場めぐり その1 雫石	2008/2/13~16	紀伊榎本、大西(恒)	東北スキー巡りの第一回が始まった。初日から東北特有の地吹雪に見舞われ、冷寒も加わり半端ではない。しかし、降雪はほとんど秋田県側に飛ばされるのか、ゲレンデの状態は悪くはない。(積雪1mの発表に変化無し)リフトが動かなかぎり、皆さん手抜きせずひたすら滑り込む、スキー再開組も初心者組も今回はぐんと上達したようだ。他方、雫石と言えば1993年のアルペンスキー世界選手権の映像が目につかぶ、全長5kmに及ぶメンズダウンヒルコース、4.5kmのレディースダウンヒルコース。4日目の朝一番、わずかな晴れ間に、この憧れのコースへの挑戦が実現した。文句のいいようがない。静かに舞い上がるアスピリンスノー、仲間だけの自由に味わえる長距離滑降、「堪能した」とはこういうときに使う言葉だろう。次回の候補地に早くも話がはずみました。	紀伊榎本節雄、大西恒雄、緒方副人、中西弘子、徳平忠久、内杉安繁、田中智子、山下登志子、紀伊榎本博美、高木恵美子、寺島直子、宮平由紀子	12
218	OP85	台高・高見山	2008/2/24	板谷、安部	全国的に死者が出るほどの冬型・荒れ模様の天候、近畿南部も今冬最高の積雪量になったと思われる。久しぶりのアイゼンに手間取るメンバーもおり、高見〜三峰間の主稜線に出てからは、持ち時間は迫り先を急ぐべく気はあせるがラッセルははかどらずで、果たして日帰りで登頂できるのか？ ようやく立った山頂は一般ルートからの登山者で賑わう。短時間留まっただけで早々に下山となってしまいましたが、EPEクラブ・リーダーとして本気になった山行でありました。	板谷佳史、安部泰子、長瀬茂正、長瀬繁子、本郷善之助、宮平良雄、松本明恵、谷村洋子、安本嘉代、青木義雄、中川雅嗣、樺田克彦、畑山禮子、田中智子、神阪洋子、柴田弘子、近藤さとみ、黒澤百合子、竹林英	19
219	OP86	スキーカーニバル・イン・北海道ルスツ	2008/3/3~7	紀伊榎本(節)、畑山(禮)	北海道最大と云われるルスツリゾートスキー場、コースの数は37 コース、総滑走距離 42km、ゴンドラ4基、クワッド7基、ペアーリフト8基、輸送能力 毎時/31、200名。驚くほど、どでかい事は確かだ。迷子になったらどうしよう、全容をつかむまでなんとも落ち着かない。初日、まずは駆け足で廻ったら、それだけで日が暮れた。ホテルも横長で馬鹿でかい、収容人員4,000名とか、マイルームと大浴場(温泉)はあいにく端と端、下町の銭湯へ通うがごとく毎日テクテクよく歩いた。でも、さすがにスキーコースは素晴らしい。連日快晴のなか丸3日間、なかにはあと半日10コース追加した人もいたが、飽きることはない。長大な斜面と程よい設計、壮大なロケーション、山スキーの醍醐味も忘れがたいが、今はその疼きを癒してくれる。今年もスキー再開組の満面の笑顔を視た。来年はチームの中味も一段と飛躍するだろう オウー！シーハイル！シーハイル！	紀伊榎本節雄、畑山禮子、秋田文雄、畑山庄司、本郷善之助、徳平忠久、上原進一、緒方副人、中西弘子、篠崎健二、山田春雄、達健一、紀伊榎本博美、高木恵美子、山下登志子、和田良次、和田敬子、西村晶、西村美幸	19
220	一般127	比叡山から横高山	2008/3/9	和田、奥中	下見の時と登り道の状況(雪の状態、落石による立ち入り禁止)は、変わっていないと判断して、ケーブルで登り、大比叡から大原まで縦走することにした。大比叡の登りは朝早いこともあって短い距離ではあったがグラストしていたが、登りきった。延暦寺を過ぎるころから、快晴に恵まれて気温もあがって雪質も変わり歩きやすくなる。横高山、永井山へとアップダウンを繰り返す。仰木峠からは地道も見え始め、一気に上野町へ下る。	和田晴次、奥中種雄、田中智子、松本明恵、柴田弘子、岸田暎子、堀木宣夫、大西幸孝、樺田克彦、岸本久仁雄、安本嘉代、安本昭久、安岡和子、畑山禮子	14

2008年度(07/11~08/10)EPEクラブ活動報告

2008/10/E現在 板谷

連番	内容		実施年/月/日	担当	コース・タイム・担当者コメント	参加者	参加者数
	例会No.	一般:一般例会 OP:オプション例会					
221	OP87	九州九重連山 久住山・大船山	2008/3/14~ 17	本郷、三原	少し歩いてアイゼンをつける。残雪ありクラスとしている。快晴、北面及び日陰の所は残雪あり。順調に水掛山・扇ヶ鼻分岐を過ぎ、久住分れに着く。荷物をデポして久住山と中岳をめざす。久住分れに帰るとザックのチャックを開けられ食料をカラスに持っていかれていた。残雪の中を北千里浜を経て法華院温泉着、久住山と中岳より大展望を満喫する。温泉に十分な鋭気もらって、坊がつるを経て大船山へ、北大船山を経て坊がつるにもどり、雨ガ池越を経て長者原にもどりました。二日間ともに快晴で九重連山の雄大な景観をあますところなく楽しみました。フェリーでの両夜行でしたが、船内でも十分楽しみました。	本郷善之助、三原秀元、畑山禮子、柴田弘子、田中智子、松本明恵、笠松マサエ、徳平忠久、川崎喜美子、西田保	10
222	一般128	榛原・鳥見山	2008/3/23	宮平、長瀬	鳥見山公園よく整備されたツツジの名所、室生赤目青山国定公園の一角、展望台での眺望は素晴らしいものがある。東海自然歩道の道標が整備されている約13キロのハイキングでした。鳥見山山頂(734m)はまったく展望のきかない植林の中にあつたのが印象的です。	宮平良雄、長瀬茂正、神阪洋子、岸田暎子、近藤さとみ、横内まみね、田中智子、畑山禮子、寺島直子、松本明恵、堀木宣夫、板谷佳史、奥中種雄、樺田克彦、黒澤百合子	15
223	OP88	福井・荒島岳	2008/3/29~ 30	板谷、大西(恒)	荒天を覚悟で雨の中、雪の消えた勝原スキー場を登り始める。幸いリフト終点付近で雨は上がる。ここからは積雪があり、更に約1時間、1100mまで高度を上げると積雪量も1mを越えた。吹きさらしになるしゃくなげ平を避け、大事をとって手前の樹林帯でテントを張ることにする。夕方には降雪となる、狭いテントだからぎやかに夕食とする。夜、敦賀の村浪氏と連絡がとれ、「明日早朝から上がって来る」とのこと。翌朝は意外にも晴れ、しかも下は雲海、上は見える限りの山岳展望が得られる絶好の天候に。雨の中、意を決して来たおかげか、もうけものの好天に励まされ胸のすくような雪稜をたどって頂上に立つことが出来た。	板谷佳史、大西恒雄、安部泰子、松本明恵、近藤さとみ、神阪洋子、安岡和子、黒澤百合子、畑山禮子、柴田弘子、長瀬茂正、川守田康行、宮平良雄、飛田典男、村浪義光	15
224	OP89	鈴鹿・御池岳	2008/4/5~6	本郷、三原	今宵のテント場は長瀬さんの下見のお陰で最高の場所でした。つぼみの桜もあり眼下には桑名の町の灯りも見え、空には満天の星が広がっていました。谷筋や北斜面には雪が多く見られました。カタクリの花は未だ見られず少し先のようなです。御池岳は鈴鹿山系の最高点で山頂部は南北に広がる広大な草原です。鈴北岳は尾根上の台地で好展望、鈴鹿の雲ノ平と呼ばれる日本庭園が広がっています。北面には雪解けを待って福寿草の群生が見られました。少し足をのばして鈴ヶ岳の頂上を踏んで、鞍掛峠を経て登山口へ戻りました。晴天の中、花と草原の好展望、満足の山行でした。	本郷善之助、三原秀元、樺田克彦、西田保、畑山禮子、柴田弘子、松本明恵、奥中種雄、近藤さとみ、長瀬茂正、長瀬繁子	11
225	一般129	六甲・甲山、ゴロゴロ岳	2008/4/12	大西(恒)、磯辺	久しぶりの六甲でのハイキング例会でした。時期と場所が良かったのか35人という大人数での里山歩きとなり、街中を歩く時は少し気がひけました。六甲は身近な、親しみのあるところですがこんなにも花が見れるところとは思いませんでした。桜、やぶ椿、三つ葉つつじ、白いタムシバ、雪柳、山吹、アセビ、ジュンラン……十指に余る花が程よく緑の中に点在しているのは、なぜかホッとさせてくれます。予想もしなかった芽吹き香りや花を十分に満喫したハイキングとなりました。	大西恒雄、磯辺秀雄、樺田克彦、西村晶、松本明恵、山本洋、吉田伸寛、岡本佳久、三浦清江、近藤さとみ、田中智子、堀木宣夫、紀伊埜本節雄、紀伊埜本博美、板谷佳史、畑山禮子、宮平由紀子、寺島直子、納家丈次、納家いくる、三原博子、三原知未、和田敬子、奥中種雄、岸本久仁雄、西田保、小椋美佐、三原秀元、横内まみね、谷村洋子、安本昭久、安本嘉代、岸田暎子、黒澤百合子、谷孝司	35

2008年度(07/11~08/10)EPEクラブ活動報告

2008/10/E現在 板谷

連番	内容		実施年/月/日	担当	コース・タイム・担当者コメント	参加者	参加者数
	例会No.	一般:一般例会 OP:オプション例会					
227	OP90	岐阜・恵那山と岩村城址	2008/4/20~22	紀伊埜本、秋田	E.P.E.的な発想がなければ、恐らくこの山には登る機会は無かったと思う。まだ知らぬ山に登ってみたい、それもベストシーズンに。選んだ前宮ルートは、かのウエスタン卿が登ったクラシックルート、長らく廃道になっていたのを地元の山岳会の努力で近年再開されたという。さすがに人の気配は少なく、踏み荒らされた跡もない。大型連休の前とはいえ、この日は山頂で別ルートから来た一人と出会っただけ、超過密の百名山とはとうてい思えぬ別世界だった。そのうえ天気運にも恵まれた。深い残雪に覆われた樹林は、まるで穏やかな表情を浮かべ眠っているかのようだ。予期した通り、この山の素晴らしい一面に触れることが出来たのがうれしい。でも、下山時は少しバワフルだったかな、なにしろ平均年齢00歳のパーティですから。予備日は岩村城址を巡ると決めてあった。駅から山へ、山から駅へ、ただ一直線上しか知らなかった頃の罪滅ぼしに近頃やたら回り道が多い。恵那岩村は戦国大名武田、織田、徳川、三ヶ国の国境に位置する争奪地点。美貌の女城主 織田信長の叔母は、戦いの果て甥信長の手によって夫 秋山信友と共に逆さ礫に晒された悲運の人。またその信長とて、その後わずか三ヶ月にして本能寺に果てる数奇な生涯——。われわれはといえば、前日の心地よい疲労感のなか、ただうららかな日を浴びて標高721m、日本一高い山城にほろほると登る。この閑疎な城下町のどこに激動の日々があったのだろうか、遅咲きの桜をめで、手打ちのうどんを食い、旧家の奥座敷に案内を乞い、やっぱり安泰が一番かと悟り合う。「老いて学べば即ち、朽ちることなし」地元江戸期の大儒学者 佐藤一斎の名句を案じながら有意義な予備日を過ごしました。	紀伊埜本節雄、秋田文雄、本郷善之助、奥中種雄、神阪洋子、田中智子、樺田克彦、紀伊埜本博美	8
228	一般130	泉南・梵天山	2008/4/27	本郷、大西(征)	山笑うは春の季語、まさに今の自然林は山全体が笑っているようでした。春の里山歩きの楽しみは木々の芽吹きがそれぞれ木の種類によってその色彩が幾重にも重なり、植林ではなく自然林の美しさを楽しめることです。春霞で遠くは望めませんでしたが、身近な里山の良さを楽しむことができました。	本郷善之助、大西征四郎、樺田克彦、板谷佳史、和田敬子、和田良次、藤田喜久江、和田都子、塚本加代子、宮平良雄、奥中種雄、岸本久仁雄、堀木宣夫、上原進一、谷村洋子、安本嘉代、岸田暎子、寺島直子、田中智子、黒澤百合子、高木恵美子、山下登志子、神阪洋子、西田保、安岡和子、小椋美佐、安部泰子、紀伊埜本節雄、紀伊埜本博美	29
230	OP91	熊野古道・大峰奥駆け道-I	2008/5/10	紀伊埜本、奥中、野口	朝から予報通りの雨。奥千本まで送ってくれたバスの運転手はいかにも気の毒そうな表情をみせるが、皆さんは何食わぬ顔。大方の人は降車時には既に完全武装、果たして遅くなったのか無頓着なのか私にはわからない。林道から四寸岩山に向かう山道に入ると、オヤと思うほど早や古道の趣が漂う。考えるに、今どき吉野から奥駆け道に入る登山者は皆無かもしれず、道はそこはかと荒れたまま悪くはない。足摺ノ小屋を過ぎた頃から、尾根の西側は暗い針葉樹の植林、東側はいっせいに芽吹きはじめた雑木林が萌えるように明るい。二蔵宿小屋から尾根どうし大天井岳山頂を経由する予定だったが、時間切れもあり大天井岳の東山腹を巻く様に進む、この道の採り方この道の巻き方は大峰特有のもので、歩いてみるとそのリズムと味わいはまぎれもない古道の感触である。ゲスト講師の野口氏は最新の国土地理院の大峰奥駆け道の表示は間違いが多いと指摘されているが、たしかにピークからピークへと結ぶ安易な表示は味気ない登山道を残すだけかも知れない。五番関の鞍部に山腹を縫って穏やかに迫り上がる道などとくに素晴らしい。この先、修験者達が辿る長くて厳しい奥駆け道のまさに序曲にふさわしい山道と感じましたが、いかがでしょうか。	紀伊埜本節雄、奥中種雄、野口秀也、山下登志子、宮平由紀子、青木義雄、紀伊埜本博美、高木恵美子、西田保、小椋美佐、田中智子、畑山禮子、柴田弘子、岸本久仁雄、横内まみね、近藤さとみ、樺田克彦、神阪洋子、岩崎真美子、徳平忠久	20

2008年度(07/11~08/10)EPEクラブ活動報告

2008/10/E現在 板谷

連番	内容		実施年/月/日	担当	コース・タイム・担当者コメント	参加者	参加者数
	例会No.	一般:一般例会 OP:オプション例会					
231	一般131	丹生・帝釈山系縦走	2008/5/18	磯辺、和田(晴)	「太陽と緑の道」と呼ばれる縦走路は、文字通り緑の中の登山道を辿ることになる。当日は快晴、気温もぐんぐん上昇する中、稜線上のアップダウンを繰り返すが、緑したたる美しい自然林を吹き抜ける風が火照った体に心地良い。途次、眺望を楽しんだり、歴史を秘めた丹生山、稚子ガ墓山の記事に遠く想いを馳せたり予定通りの19kmを元気に踏破しました。	磯辺秀雄、和田晴次、紀伊榎本節雄、奥中種雄、三原秀元、西田保、大西征四郎、大西幸孝、堀木宣夫、山本洋、吉田伸寛、齋藤容子、樺田克彦、板谷佳史、小椋美佐、岸田暎子、黒澤百合子、安本昭久、安本嘉代、谷村洋子	20
232	OP92	熊野古道・大峰奥駆け道Ⅱ	2008/5/24~25	紀伊榎本、奥中、野口	そのⅠに続きそのⅡも雨で始まった。小雨に煙る玉置神社はいっそう荘厳である。山頂までのルートの一部カットした余裕で、神社の奥に立つ樹齢3千年の大杉を訪ねる。見事な巨木である。樹肌の張りと言ひ、艶と言ひ屋久島の縄文杉を凌ぐ力強さである。翌朝はさらに激しい雨。足元はぬかるみよく滑るので寸時の油断もできない。とくに五大尊岳の下りは地図では読めないかなりの悪路である。片手傘で連なるように下って行く仲間達を上から見守る私の目には、ただ開いた傘が見えるだけの急勾配である。だが不思議に何の不安も感じさせない、危なげがない。この歳で、この活動ができる仲間達に心から「ようやるわ」と喝采を送る。午後からようやく雨も上がりやがて視界が広がってきた。すると、あの長大で雄雄しかった大峯山脈が左右両側から次第に北山川と十津川に迫られ、包み込まれるように消え去ろうとする光景を目の当たりにした。そうか、修験者たちがここに来て感涙の極みと泣いたのは、けっして抹香臭いものではなく、今ここで私達と同じ様に、眼下に広がる大山脈のその終焉に惜別の情を抱いたのではなからうか。奥駆け道はさらにその想いを高めるように、山脈の最期の最期まで緩やかな上下を繰り返し、ついに降り立ったところは熊野川と名の替わる大地でした。「ああ、終わった！」誰もが何か胸打たれる思いで、次々と奥駆け道終了の道標に手を添えて行った。	紀伊榎本節雄、奥中種雄、野口秀也、徳平忠久、大西恒雄、黒澤百合子、青木義雄、西田保、板谷佳史、小椋美佐、田中智子、畑山禮子、柴田弘子、横内まみね、樺田克彦、神阪洋子、岩崎真美子、近藤さとみ、松本明恵、堀木宣夫、山下登志子	21
233	OP93	大峰・七面山	2008/5/31~6/1	宮平、長瀬	恒例のシャクナゲ登山、舟ノ川出合ですすでに車数台止まっていた。キャンプ場を湯ノ又にして翌日早朝、舟ノ川地獄谷出合へ移動、林道を小一時間かけ登山口へ、いつものコースであるが、おめあてのシャクナゲ、シロヤシオ、アケボノツジが確認でき、「ほっと」する。一年を楽しみにしていた場所も天候にも恵まれ、より満足できた一日を過ごせた。	宮平良雄、長瀬茂正、長瀬繁子、畑山禮子、柴田弘子、田中智子、谷村洋子、安本嘉代、保木道代、樺田克彦、近藤さとみ、川守田康行、安岡和子、寺島直子、竹林英、森坂紀男、森坂利子	17
234	一般132	三上山から恭仁京跡	2008/6/8	紀伊榎本、奥中	雨という予報が、まさかの晴れになった。おかげで三上山からの素晴らしい眺望にめぐり会えた。とうとうとした木津川の流れが、西から北へと直角に転ずる範囲に、この三上山の裾野がすっかり取り込まれている。この様な地形は、天平の貴族達が勢いの追う獲物を前に、馬上に弓矢を構える絶好の狩場だったに違いない。それにしても、この山頂から見れば平城京は指呼の間にある。週末?の余暇を楽しむ風光明媚な場とあれば別として、聖武天皇がなぜこの地(恭仁京)に遷都しようとしたのか、今さら現代人に合理的な説明を求めるのは無理というものだろう。山頂からいったん南側の谷間に下り、支尾根を越えて海住山寺に至る辺りは里山の風景が見事に釣合っていて美しい。恭仁京跡はさらにその先に広がる田園のなかにある。恭仁小学校とある小さな木造校舎と、整然と組まれた巨大な礎石の他は何ひとつ無いが、それがまた1300年近く前の歳月を彷彿とさせる。晴れた日の下で、久しぶりにゆったりとしたひと時を過ぎた。帰路、一步横に出ると、真直ぐ見通せる道は国道163号線を割ってさらにその先まで連なっている。登大路であろうか、賑やかな会話を楽しみながら一歩々、古代の路を下って行きました。	紀伊榎本節雄、奥中種雄、堀木宣夫、三原秀元、樺田克彦、畑山禮子、和田敬子、寺島直子、寄川都美子、岩崎憲代、横内まみね、田中智子、小椋勝久、小椋美佐、神阪洋子、川守田康行、牧田柳子、三原博子、實綾操子	19

2008年度(07/11~08/10)EPEクラブ活動報告

2008/10/E現在 板谷

連番	内容		実施年/月/日	担当	コース・タイム・担当者コメント	参加者	参加者数
	例会No.	一般:一般例会 OP:オプション例会					
235	OP94	野坂岳、夜叉ケ池と三周ケ岳	2008/6/14~15	本郷、秋田	夜叉ケ池の例会はE.P.E.では実は三度目で一回、二回と計画が流れ今回は三度目です。梅雨の晴間が続き、好展望の野坂岳、人気の夜叉ケ池と三周ケ岳を同時に楽しむことが出来ました。両山共に人気の山で登山者も多く見られたのも納得です。原生林、特にブナ林の登行は、実に気持ちの良いものです。そして野坂岳、三周ケ岳共に一等三角点の山でした。願わくば残雪の頃にもう一度来たいもんだと思いました。	本郷善之助、秋田文雄、長瀬茂正、樺田克彦、近藤さとみ、保木道代、神阪洋子、谷村洋子、安岡和子、安部泰子、岸田暎子、奥中種雄、村浪義光	13
236	一般133	紀州・龍門山、飯盛山	2008/6/22	大西(恒)、岸本(久)	EPEの例会では雨による中止はなかったと思いますが、今回もカッパ着用のハイキングとなりました。龍門山-田代峠-飯盛山の予定でしたが湿度満点の中では思うほど進まず、飯盛山への途中で打ち切りとなりました。景色は見られませんが、道中に咲いていた笹ゆりは綺麗でした。季節の良いときに又計画したいと思っています。	大西恒雄、岸本久仁雄、樺田克彦、畑山禮子、寺島直子、松本明恵、黒澤百合子、奥中種雄、堀木宣夫、大西征四郎、翁長和幸、牧田柳子	12
237	一般134	側川から槇尾山	2008/6/29	宮平、大西(征)	この例会は初めて沢登りを体験したい人向けの企画です、今回その対象者が一人もいませんでした。梅雨のど真ん中での沢登り、当然中止ありきの状況で現場に着いたが、これなら行けそうと判断、装備を身につける。増水の沢登りに時間はかかるが面白い。2ヶ所ほどロープを使い、安全を期す。具合よく雨もまぬがれ、こじんまりのメンバーで楽しさ一杯の一時でした。	宮平良雄、大西征四郎、岸本久仁雄、奥中種雄、本郷善之助、樺田克彦、板谷佳史、畑山禮子、柴田弘子	9
238	OP95	大峰・八経ヶ岳	2008/7/5~6	板谷、長瀬	高度差1300mの往復、11時間の山行でした。梅雨明けまぢかかと思わせる暑さと昨夜の寝不足も手伝って、厳しい山行となりましたが、予想通り途中で登山者に出会うことの全く無いルートでした。オオヤマレンゲ鑑賞目的にはずいぶんと余計な努力を費やしましたが、ぜひ一度、「このようなルートから大峰を味わって頂きたい」・・・という担当者の思い入れは充分達せられたかと思っています。	板谷佳史、長瀬茂正、本郷善之助、堀木宣夫、畑山禮子、柴田弘子、田中智子、岸田暎子、黒澤百合子、樺田克彦、神阪洋子、川守田康行、安部泰子、近藤さとみ	14
239	OP96	第2回山岳会・E.P.E合同“友が島”	2008/7/12~13	宮平、大西(恒)	第1回目の合同企画から3年がたちました。前回は弥山にパーティごと集中するという形の企画であったので、懇親があまりできなかった。今回はどちらかという少し遊びの要素に軸足をおいた、キャンプを中心とした形となりました。「冒険、探険、島巡り、泊まり組、日帰り、家族でどうぞ」の案内どおり、虎島での岸壁へつり、島の南側の岸壁へつり(泳ぎあり)、砲台跡へのハイキング、とそれぞれ堪能できたと思います。もちろん懇親も十分でした。それにしてもキャンプの設営、食事の段取りと、誰が指図をするでもないのにいつのまにやらできているのは、いつものことながら泉州山岳会とE.P.Eクラブの伝統の強みでしょうか。まだ島の岸壁一周が残っています。誰か挑戦してはいかがですか。	宮平良雄、大西恒雄、西村晶、紀伊壱本節雄、奥中種雄、本郷善之助、翁長和幸、近藤さとみ、松本明恵、畑山禮子、柴田弘子、津川洋子、田中智子、樺田克彦、寺島直子、和田敬子、和田良次、上原進一、實操綾子、西村美幸、西村千秋、辻本、神阪洋子、長瀬茂正	24
240	一般135	金剛山・妙見谷~カトラ谷	2008/7/20	奥中、三原	梅雨明け宣言直ぐの大阪地方、最高気温36℃を超える猛暑の中、金剛山の妙見谷~カトラ谷へ行ってきました。参加者は初参加者を含め担当者の予想をはるかに超える25人となりました。どちらの谷も水量も多く、涼しく、妙見谷はコースのとりようで楽しさが広がる谷でした。いつかは妙見橋の下から、水量の多い時に、沢スタイルで遡行してみたいものです。	奥中種雄、三原秀元、紀伊壱本節雄、紀伊壱本博美、樺田克彦、大西征四郎、寺島直子、岸田暎子、宮平由紀子、笠松マサエ、畑山禮子、山本洋、吉田伸寛、近藤さとみ、江本恭子、大西幸孝、田中智子、柴田弘子、實操綾子、和田敬子、和田良次、高尾正巳、杉本栄子、川崎喜美子、岸本久仁雄	25
241	OP97	大峰・前鬼川孔雀股谷右俣	2008/7/25~27	板谷、安部	昨年とはんでもないルート間違いで失敗に終わった孔雀股谷であったが、今回はこれ以上ないほどの正解ルートを通り、ダイレクトに孔雀岳の頭に立つことができました。失敗にめげず、一年間待った甲斐がありました。平均年齢60歳を軽く越える10名の大パーティが一泊の装備持参で大峰のこのような谷を遡行することができることは、たいしたものと思っています。	板谷佳史、安部泰子、川守田康行、保木道代、黒澤百合子、本郷善之助、宮平良雄、長瀬茂正、畑山禮子、柴田弘子	10

2008年度(07/11~08/10)EPEクラブ活動報告

2008/10/E現在 板谷

連番	内容		実施年/月/日	担当	コース・タイム・担当者コメント	参加者	参加者数
	例会No.	一般:一般例会 OP:オプション例会					
242	OP98	比良・へく谷	2008/8/3	板谷、秋田	都会の酷暑を忘れる手頃な谷歩きを満喫できましたが、やはり10名となるとザイル操作にも時間をくひ、結構な所要時間となりました。	板谷佳史、秋田文雄、奥中種雄、安部泰子、保木道代、松本明恵、近藤さとみ、樺田克彦、畑山禮子、柴田弘子	10
243	一般136	金剛山・南尾根	2008/8/9	紀伊莖本、本郷	暑い汗を思い切りかく筈が、午前中は意外に涼しく昼食時にはスクールもどきの雨も降り快適だった。2004年8月8日にも同じ主旨でこの逆ボッカ道を例会で取り上げたが、そのときも比較的涼しく快適だった。違う事とは例えば、参加メンバーがやけに遅くなったこと。紀伊見荘での一風呂浴びた後、ビールと怪気炎が著しく上昇したことだ。いったい4年の歳月が、何をどう若返へらせたのか、これはうれしい悲鳴だと言わねばならない。	紀伊莖本節雄、本郷善之助、上原進一、和田敬子、和田良次、堀木宣夫、樺田克彦、近藤さとみ、小椋美佐、奥中種雄、山本洋、岡本佳久、三原秀元、西村晶、大西恒雄、田中智子、柴田弘子、神阪洋子、寺島直子、畑山禮子、松本明恵	21
244	OP99	立山・浄土山	2008/8/18~19	本郷、長瀬	超過密の室堂を後に、浄土山へ向う。今年は残雪も花も多い、深いガスの中、つがいの雷鳥が現れる。一の越の途中よりガスが晴れて弥陀ヶ原、室堂平、大日岳が一望できる。雷鳥沢ヒュッテの温泉に浸かって立山三山を眺めることができた。翌朝、不安視された天気は雨、気象状況は最悪の状態、大日岳は断念して下山を決定、剣岳の夕照は次回へ・・・。	本郷善之助、長瀬茂正、畑山禮子、柴田弘子、田中智子、長瀬繁子、神阪洋子、和田敬子、樺田克彦	9
245	OP100	大峰・神童子谷/ノウナシ谷廻行~柏木	2008/8/30~31	宮平、長瀬	下市口から大川口へ向うタクシー乗車中の雨の様子を見て、運転手から林道走行を拒否され、やむなく中止となった。	宮平良雄、長瀬茂正、安部泰子、畑山禮子、柴田弘子、保木道代、本郷善之助、川守田康行	8
246	OP101	中ア・越百山、南駒ヶ岳、空木岳	2008/9/7~9	紀伊莖本、大西(恒)	夏の終わりから奇妙な気圧配置が続き、出発が危ぶまれた。台風による順延は想定していたが、ぐずぐず続くゲリラ豪雨の判断は難しい。だが、出発間際になりようやく好転に向かう確信を得た。E. P. E. クラブの実力からして、高所での悪天は避けたい条件である。越百山から仙涯嶺、南駒ヶ岳、空木岳に至る核心部は、今日の中央アルプスのイメージから言うと格段と素晴らしい主稜歩きである。遠く幅広く見えるはずの南ア、北アの眺望こそ雲に阻まれたが、ときにガスの切れ間に現れる岩峰はドキリとする程迫力がある。そのうえ幾日も続いた悪天候明けのせい、この日、出会った登山者は僅か4名、信じられぬ程の清閑さである。各山頂は文字通りE. P. E. 一色、こんなこともあるのですよね。でも、岩場での危険度こそ見かけ程もないが、ここで雷雨にでも見舞われたら難儀は目に見えている。逃げ場のないのが里山との決定的な違いである。若い頃、無造作に駆け抜けたところも、高齢者団体にとってはハイレベルな対象であることを忘れてはならない。またここでは、チームプレーも大事な必須条件である。リーダーの指示を待つまでもなく、自らのザックを解き、不調者から荷物の分担を受け入れようとするひとが、次々と出た。うれしいことである。E. P. E. に芽生えた新しい規律を見る思いである。次回も、また次回も新鮮で楽しい山旅を続けようとする意欲が湧いてくる。空木岳山頂の一同「グゥー」の表情を見てください。正に「グゥー」である。	紀伊莖本節雄、大西恒雄、樺田克彦、本郷善之助、神阪洋子、和田良次、和田敬子、田中智子、松本明恵、青木義雄、近藤さとみ、紀伊莖本博美	12
247	一般137	裏六甲・石楠花谷	2008/9/13	三原、紀伊莖本	車窓から、小雨の降り出しているのが目に付く。なんとなく嫌な予感がするが、花山駅に着いた頃には、雨もあがりほっとする。石楠花谷も砂防ダムが四つも出来、水量も少なくなり沢床も苔でヌルヌルとして登山靴では滑りやすいので、核心部以外は一般登山道を行く。谷歩きのもりで来られた人には物足りなかったと思いますが、帰路も結構長い長峰山ルートなので無理をせず下山しました。	三原秀元、紀伊莖本節雄、樺田克彦、柴田弘子、田中智子、近藤さとみ、山本洋、齋藤容子、吉田伸寛、畑山禮子、奥中種雄、大西征四郎、堀木宣夫、岸本久仁雄、寺島直子、岡本佳久、黒澤百合子	17

2008年度(07/11~08/10)EPEクラブ活動報告

2008/10/E現在 板谷

連番	内容		実施年/月/日	担当	コース・タイム・担当者コメント	参加者	参加者数
	例会No.	一般:一般例会 OP:オプション例会					
248	一般138	高天道から金剛山	2008/9/21	磯辺、大西(征)	鳥井戸のバス停からは、前方に展開する金剛の山並みを眺めながら、のどかな田園風景の中を辿る。奈良県側から見る金剛山は重厚でなかなか立派である。今を盛りと咲き誇る彼岸花が秋の訪れを感じさせる。高天彦神社から高天滝を経ていよいよ郵便道(高天道)の急登が始まる。ダイトレ直下の500段の丸太階段は結構苦しい。今回のコースは鳥井戸から金剛山頂までの標高差935m、終始苦しい登りが続くも全員元気に踏破する。ダイトレ一の鳥居を経て山頂広場で遅い昼食。下山は寺谷と細尾谷を分ける急な尾根を下り、降り出した雨の中をバス停へ。	磯辺秀雄、大西征四郎、堀木宣夫、山本洋、吉田伸寛、齋藤容子、奥中種雄、和田敬子、上原進一、小椋美佐、寺島直子、黒澤百合子岸田暎子、松本明恵、神阪洋子、安岡和子、樺田克彦	17
249	OP102	大峰・中八人山	2008/9/27~28	宮平、本郷	前日不安定な天候の急変に見舞われたが、本日珍しく午後からの集合、明日の快晴を期待して、途中食料の買付けしての現地入り。夕食は鍋とアルコールがあり大いに盛り上がる。明かりを点けてのスタート、鹿除けネット沿いの作業用と兼用か不自然な登山道、不愉快な登り。木々が生い茂り展望の利かない地味な山城、奥深い山だ。お陰で誰一人会わなかったのが嬉しい。宮の谷の頭に「玉子製紙」を表す小さなカンバンがあったが、山頂近くのこの緩斜面にも植林されていたのが驚きである。早朝5:30出発、13:30駐車場に到着、所要時間8時間お疲れ様でした。	宮平良雄、本郷善之助、長瀬茂正、長瀬繁子、松本明恵、田中智子、和田敬子、近藤さとみ、小椋美佐、保木道代、神阪洋子、樺田克彦、黒澤百合子	13
250	一般139	北摂・千丈寺山	2008/10/5	三原、奥中	せっかくハイキングに最もいい季節に入ったというのに、今日は終始雨という予報である。参加者はいつもより少ないが集合した皆は行く気満々である。さて千丈寺山は一等三角点のある結構展望もいい山であるが、その割に入山者の少ない山でもあるようです。最近の状況を調べるため一週間前に現地に行ったところ、10月1日より松茸山のシーズンとなるため入山は難しいという事を地元の人に聞く。その真否を確かめるため地区の区長さんや交番のおまわりさん、三田市役所に問い合わせた結果、丹波の地方では、このシーズンは地元人でも山に入らない様だという。何かゾリゾリとした雰囲気を感じられる。しかし何とか入山できる方法はないのかと山主の所在を探索したが、それも解らないので、本日入山して現地で山の管理者が居れば直談判のつもりで出かける。バスを降りて、林道を登山口まで行くが誰も居ない。入山を規制しているようでもない、入山させて頂くことにする。し参加者には山の植物や生育している全ての物を一切採取しない様注意する。雨は小降りであるが終始降り止まず、途中昼食も立って食べるような状態である。視界はそこそこあり、大船山や羽束山が霞んで見え隠れする。時折、気のせいか松茸の香りもしないでもない。頂上は雑木林の中である。一等三角点にタッチして千丈寺湖に向かってゆっくり下って行く。樹林の間から垣間見る湖や田園風景は雨に濡れた不快な気分を和らげてくれる。北浦の神社の裏手に下山して大休止。合羽を脱いで、今度は傘で広野までの5Kmの道を皆元気に歩きました。今回の山行は結果的には問題は無かったのですが、今後このシーズンの丹波での山行は計画しないほうがいいと思います。	三原秀元、奥中種雄、堀木宣夫、寄川都美子、樺田克彦、近藤さとみ、寺島直子、大西征四郎	8
251	一般140	泉南・犬鳴山	2008/10/12	板谷、大西(征)	連休の中日にかかわらず、28名もの多数参加で先頭と後尾の意思疎通に事欠くほどでした。初参加者が数名おられ、できるだけゆっくりしたペースで歩いた結果、予定したラウンドコースを回り切ることができませんでした。結果としては強行しなくて幸いだったかもしれませぬ。犬鳴山周辺は大阪近郊にもかかわらず、自然も残されており、また修験道の神秘的な雰囲気が味わえて、他とはまた違ったハイキングができる山だと思います。なお、「犬鳴山」という山名の山は無く、七宝滝寺周辺の総称となっています。	板谷佳史、大西征四郎、堀木宣夫、安本昭久、安本嘉代、寄川都美子、新里トヨ、吉田伸寛、山本洋、齋藤容子、高木恵美子、神阪洋子、山下登志子、柴田弘子、樺田克彦、田中智子、松本明恵、本郷善之助、奥中種雄、杉本栄子、宮平良雄、和田敬子、北垣信子、上原進一、畑山禮子、紀伊塾本節雄、紀伊塾本博美、岸本久仁雄	28

2008年度(07/11~08/10)EPEクラブ活動報告

2008/10/E現在 板谷

連番	内容		実施年/月/日	担当	コース・タイム・担当者コメント	参加者	参加者数
	例会No.	一般:一般例会 OP:オプション例会					
252	OP103	熊野古道・御幸道(中辺路)	2008/10/18 ~19	紀伊筈本、奥中、野口	中辺路は熊野古道の中でも最もポピュラーな観光ルートだという。それだけに、初手から喧騒の渦に巻き込まれ、嫌なイメージを持ちたくないシリーズの後半にまで持ち込んでいた。だがやはりこの街道は無視できない。事実、時代からこの中辺路こそ主街道に違いないのだから。てっぺんの混雑は承知の上で、高原熊野神社から旧旅籠の点在する素敵な坂道から始まった。と、オヤオヤその先の踏跡に雑草がはびこっている。何としたことか、やがて行く手には閑散とした山路が待っていた。意外な展開である。平成のブームにあやかろうとしたのか、小さな茶屋が早や廃墟になっていた。観光化された古道は中辺路のなかでもごく一部であることをこのとき始めて知ることになる。車道と交差する位置から、次のお迎え可能な地点まで約1時間程の区間、それが代表的中辺路として縮約された現代版である。牛馬童子の手前の「道の駅」から露まで——。三越峠から玉船神社まで——。発心門王子から伏拝王子まで——。いずれも大型バスから放出された観光客がぞろぞろと現れる。それ以外の大半はわずか数名の若者に道を譲るだけの静かな古道そのものである。これもまた千年に及ぶ歴史の中での自然の成り行きであろうか。だが、手に手に竹杖を持ちおぼつかない足取りで歩む観光客の顔は、それでも楽しげに輝いていた。ごく自然に「こんにちは、こんにちは、お先にごめん」と言葉を交わすうちに、ふと自分のなかに山ずれしたエゴから彼らを邪魔者に見下す思いのあることに気づき恥ずかしき様だと思った。古昔の旅人を想い、古昔の山路に思い巡らす人々に何の区別があるものか。山ずれ者の驕りを捨てねばならないと思った、いや捨てましょう。秋晴れに恵まれた青空の下で山旅は楽しい。近露の宿は簡素で清潔、温泉も食事も満足、そのうえよく学ぶことも出来ました。熊野古道シリーズも後2回、益々楽しい企画をと頑張ります。ご期待ください。	紀伊筈本節雄、奥中種雄、野口秀也、三原秀元、松本明恵、紀伊筈本博美、高木恵美子、堀木宣夫、樺田克彦、近藤さとみ、西田保、横内まみね、青木義雄、中川雅嗣、小椋美佐、畑山禮子、柴田弘子、田中智子、神阪洋子、岩崎真美子	20
253	一般141	六甲・布引から摩耶山	2008/10/25	大西(恒)、磯辺	新幹線新神戸駅からは雌滝・雄滝・布引貯水池の景観を愛でながら市ヶ原に。これより先は好天の土曜日にもかかわらず行き交う登山者は極端に少なくなる。黒岩尾根分岐を見送り、トゥエンティクロスの遡行が始まる。名前の由来となった20回に及ぶ飛び石伝いの徒渉も現在では10回にも充たない。それでも谷沿いの小径は緑に包まれ心地よい。森林植物園への分岐から徳川道に入る。摩耶山へは静かで穏やかな桜谷を登りつめる。摩耶山掬星台からは眼下に広がる景観を楽しんだ後、下山を急な斜面が続く青谷道にとる。廃墟となった天上寺跡からの階段の下りは結構長かった。解散は阪急王子公園駅。	大西恒雄、磯辺秀雄、寺島直子、宮平由紀子、松本明恵、田中智子、堀木宣夫、岡本佳久、高木恵美子、紀伊筈本節雄、紀伊筈本博美、大西征四郎、西田保、奥中種雄、中川雅嗣、青木義雄、板谷佳史、安本昭久、安本嘉代、谷村洋子、黒澤百合子	21
254	OP104	中国・三室山と後山	2008/10/25 ~26	三原、長瀬	25日は秋晴れとまではいかないが、マアアの天気、三室山の上部ではヤブナや楓の紅葉が目を楽ませしてくれる。頂上からは北部の氷ノ山方面はガスって見えないが、明日昇る予定の後山は堂々として立派である。千種町で買い物、入浴をして後山キャンプ場へ向う。夜は星空で明日も天気はもつだろうと楽観していたが、夜半から時雨模様となる。26日ゆっくりめの出発で後ろ山をめざす。後山は昔は藪山でほとんど登山者もいなかったが、今では道も整備され、展望も良い山なので他府県からも訪れる人が多い様です。今日も昨日も駐車場にはツアー客の観光バスが駐車していたのには驚きでした。	三原秀元、長瀬茂正、本郷善之助、畑山禮子、柴田弘子、樺田克彦、安岡和子、近藤さとみ	8
一般例会 : 25回 / 593名 オプション例会 : 23回 / 325名 例会合計 : 48回 参加者総数 : 918名							